

令和6年10月22日

研修だより 37号



## 管理訪問を終えて

小笠原康晃

先日は、訪問のための授業準備をありがとうございました。

お忙しい中、子どもたちの思考力を高めるために様々なしかけをしてくださり、大変嬉しいです。

本年度の校内研修として、対話・協働に繋がる「しかけ」について追究しています。

「しかけ」以外にも、先生方の普段の授業から心掛けていることを垣間見ることができました。

ありがとうございました。

今回も授業研究に関する指導をいただきました。

笠小ルーブリックの取組は良いと思うので、ぜひ続けていってほしい、という言葉もいただきました。

改善として、以下の3つのポイントを示していただきました。

- ①本時の目標と「かだい」がずれている。
- ②笠小ルーブリックの言葉が「子どもの姿」のはずなのに、曖昧になっている。
- ③「かだい」と「笠小ルーブリック」が対応していない。

2・3学期の全体研究授業や日々の授業でも、このことを意識していきたいと思います。

教える側の教師が、しっかりと言葉の意味を捉えていくことも大切だと思います。

全体公開授業や一人一授業、普段の授業でも気を付けていきたいことだと思います。

日々の実践に活かしていきましょう。